

施設での毎日の生活は、職員も入所者も全員で補い合い、協力しあい、励ましあって、充実した一日を作り出し、夫々に精一杯生き行つて頂きたいと思ひます。

人の感情は、流動的で崩れ易い面もありますが、反面、気の持ち方次第では活力を引き出すことも出来ます。「雨でイヤだなあ」と思うとたちまち意気消沈してしまいますが、「雨で良かった。草木も芽を伸ばし、ホコリもとれてきれいになる」と思うと、気が湧いてきます。全員で気力を引き出す環境づくりをすることが大切ではないでしょうか。どのような障害を持った人でも、気力、やる気を持って必ず道は開けるものと思ひます。目標が如何に立派でも、人が動こうとしなければ、あまり意味がありません。たとえ内容が少々乏しくても、やる気を引き出し自分で動くように援助してあげれば、必ず向上するものです。

又、人に誉められる喜びが、それに応えようとする気力となり、行動となつて、伸びる力になると思ひます。園庭の美しい藤や花を見るように、人の長所を見て惜しみなく誉め合う事が良いでしょう。誉めれば長所が拡大し、短所が消えるものです。そして、誉められたことに感謝し、その人に好意を持ち、認められたとおりの人になるうと努力するでしょう。失意の人には、温かい言葉をかけて下さい。そうすれば、必ず失意から立ち上がるでしょう。いつもやさしい言葉を忘れないで頂きたいと思ひます。

中庭の蛭子神社の神様に守られながら、地域の人々から親しまれるホームとなり、かつ永遠に輝く福祉の灯を守り続けたいものだと念じています。

あゆみみ△△△△長挨拶

会長 杉浦文雄

平成元年と共に、三恵ホームの機関誌を発行する運びとなりました。これもひとえに石原園長をはじめ、関係職員のご協力の賜物と感謝しております。兼ねてより入所者の生活等々の情報を流す手段が欲しいと熱望しておりました。そしてこの度、多くの障害者の皆様と情報交換が出来ることとなり、大変楽しみにしております。三恵ホームにもそよ風が吹くものときめいております。

私たち入所者80名は親睦を目的に「あゆみ会」をつくっております。そこで今年の年間生活目標を紹介いたします。

- 一、リハビリとクラブ活動を両輪として、自立と社会参加を行う
- 一、多くの人との出会いを大切にし、ふれあいの中で人間愛を育てる。

以上を目標に、社会から受けた福祉に甘えることなく頑張っていきたいと思ひます。



あゆみ会役員